

土岐橋架け替え

長年の地元要望、安全に通行可能な橋へ

起因

土岐橋は、昭和5年に架設された非常に古い橋である。

益見区と栄町区の人・歴史・文化が行き交う重要な橋であり、現在では「県立瑞浪高等学校」「学校法人安達学園中京高等学校」へ通う多くの生徒らの通学路でもある。

昭和47年災害による土岐川益見での氾濫を契機に、土岐橋の架け替えの必要性が明らかとなる。

橋の現状については、健全度2・通行車両重量8tに規制されている。

橋の形状については、桁下高の不足、橋脚が多く径間が短いため増水時には河川の流れを阻害することから、氾濫の要因となる。

このような現状から、県は土岐川河川改修事業により、土岐橋架け替えの着手をすることになる。土岐川圏域河川整備計画に基づき土岐橋の架替計画の検討に入り、平成27年度より、地元関係者などに具体的な事業計画の説明が始まる。



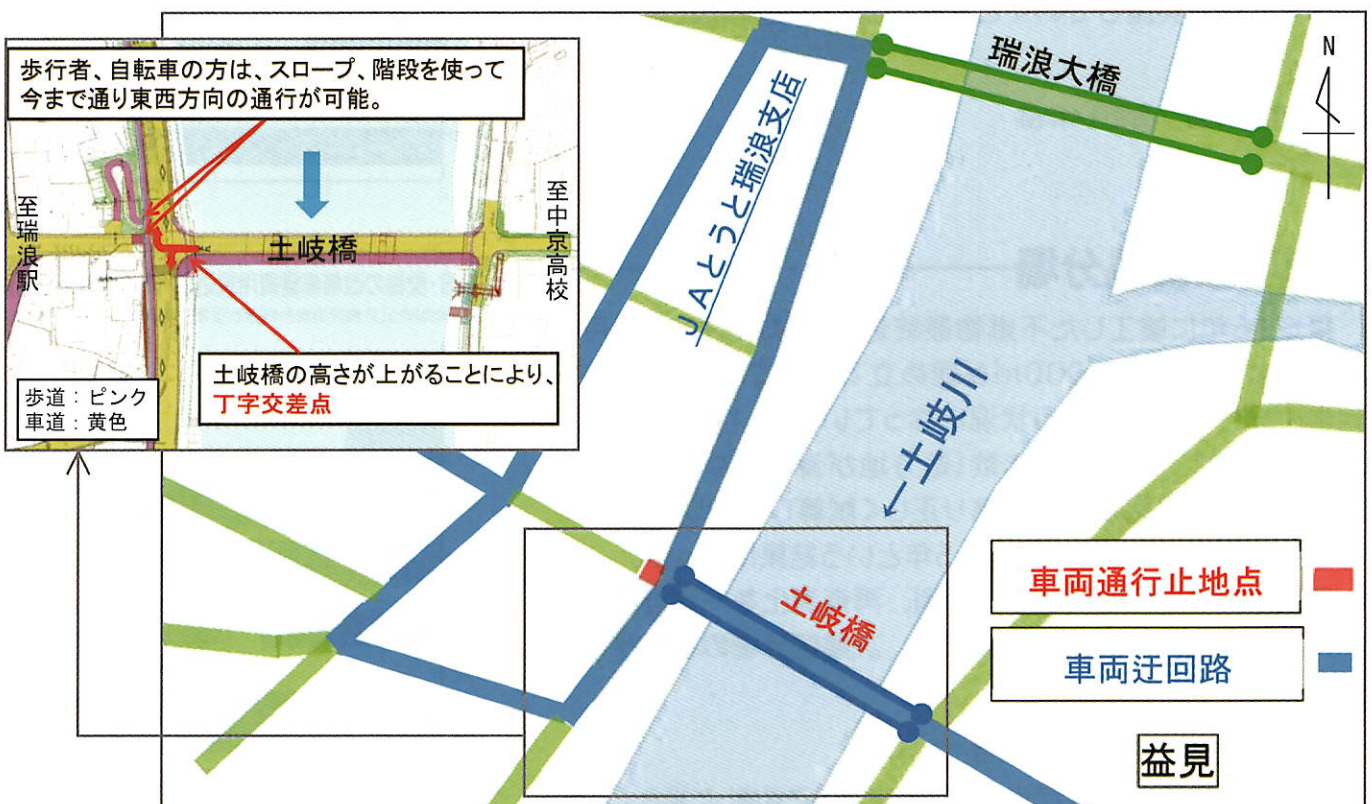
47災害 旧孕子橋



県道瑞浪大野瀬線（瑞浪大橋の東側）

計画

土岐橋架替計画については、橋梁の高さが河川中央で1.9m上がり、右岸栄町側を1.3mかさ上げするため、現在は右岸側が「十字交差点」になっているが、「T字交差点」にする。



そのため、益見地区と栄町地区双方からの直進ができなくなるが、車両通行については瑞浪市が市道住吉線を整備することで対応する。

歩行者の通行については、岐阜県がスロープの設置等で対応を検討する。

◎令和2年4月1日

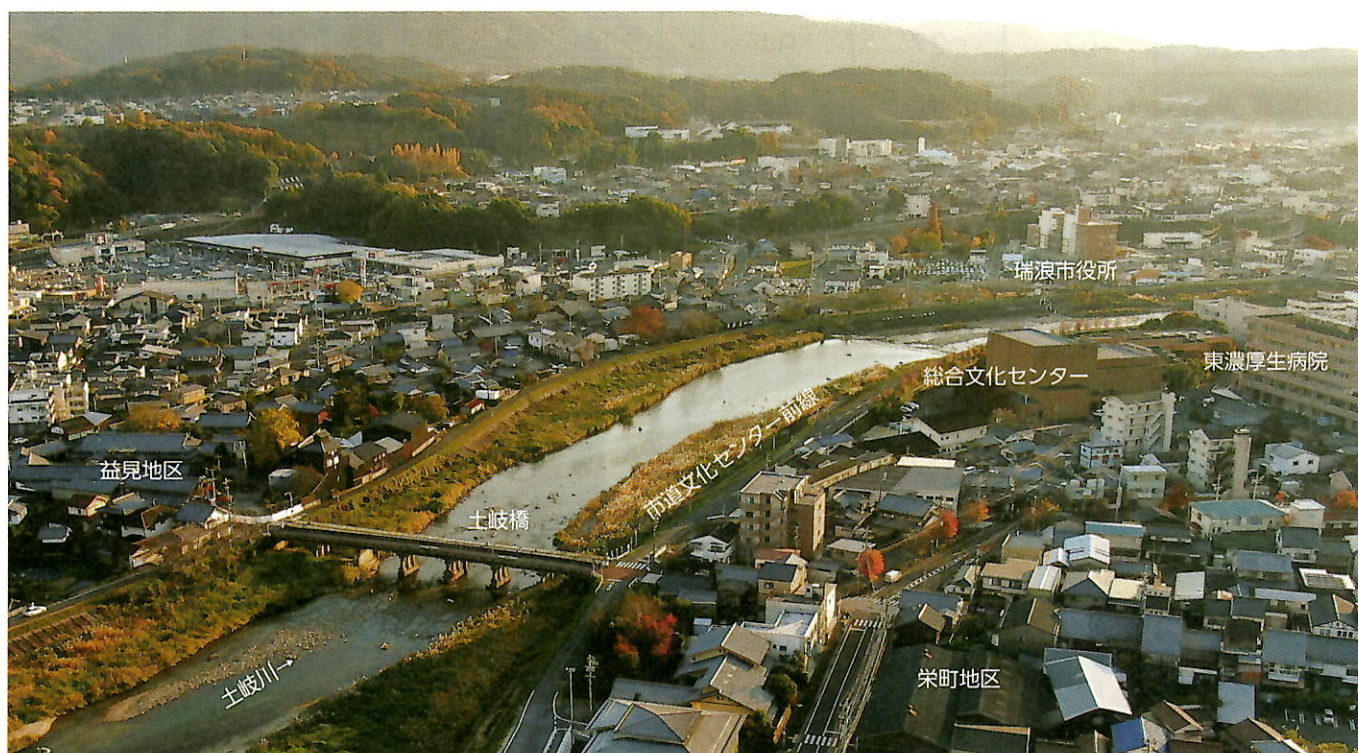
国の「大規模特定河川事業」に採択され、土岐橋の架け替えが計画的に進むことになった。

今後

国の補助事業である【大規模特定河川事業】に事業採択され、令和2年度から岐阜県により事業実施中。令和3年度の仮橋架設から本格工事着手の見込み。

土岐橋架設完了までのスケジュール（予定）

工事スケジュール		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
工事内容	仮橋	R4.11 月頃 仮橋設置 ↔				R7.11 月頃 仮橋撤去 ↔	
	土岐橋		右岸側下部工 ↔	左岸側下部工 ↔	上部工 ↔		
歩行者		土岐橋	土岐橋通行止め 仮橋				土岐橋
自動車		土岐橋	土岐橋通行止め 瑞浪大橋 or 明德橋				土岐橋



令和3年11月現在